

2007 年度

科目名 言語学概論 A	対象学科・学年 文学部日文 2 回生	担当者 塩田 勝彦
授業テーマ 言語の本質と機能 一人にとって言語とは何かー		
授業の概要と目標 我々が普段何気なく使っている言語を科学的に見るための基礎的な知識を講義する。題材は日本語、英語のような比較的身近な言語だけでなく、日本人にとって馴染みの無い言語からも取り上げていくことで、言語の多様性について考える機会を提供したい。		
評価方法 筆記試験と出席で評価する。		
テキスト 特に指定しない。	著者	出版社
参考書 『言語学』第2版 『日本語教師のための言語学入門』	著者 風間喜代三（他） 小泉 保	出版社 東京大学出版会 大修館書店
授業スケジュール・内容 1. 言語学とは何か ー 動物に言葉はある？ 2. 言語学の研究対象 ー 記号としての言語 3. 語の構造 ー 語と形態素 4. 語の構造 ー 語形変化 5. 語の構造 ー 語形成 6. 語の意味 ー 意味の定義、成分分析 7. 語の意味 ー 機能語の意味 8. 音の構造 ー 音声と音声器官 9. 音の構造 ー 子音の調音1、音声記号 10. 音の構造 ー 子音の調音2 11. 音の構造 ー 母音の調音 12. 音の構造 ー 音韻論、音素とは何か 13. 音の構造 ー 音素設定の作業原則1 14. 音の構造 ー 音素設定の作業原則2 15. 音の構造 ー アクセント		